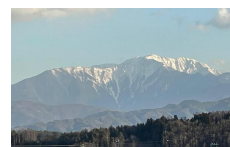


ああ 遠くの空は 晴れている



NO12-2

南箕輪村教育委員会

感動！ 南箕輪の子の 言葉・姿

2月18日に開かれた人権教育推進委員会で、南箕輪村の小中学校3校の子どもたちの、とってもステキな言葉や姿が紹介されました。子どもたちの柔らかな感性をここに紹介します。

南箕輪中 人権講演会「君は1人じゃないから」

長岡春奈さんのお話『LGBTQ+を取り巻く人権』を聞いて

「固定概念を捨てる」

感想 「男子だから」「女子だから」という固定概念を破って生活していきたい。

「寄り添う姿勢」

感想 ちゃんと相談に乗ってあげたい。その人が温かい気持ちになれるような言葉をかけてあげたい。

「無知を知る」

感想 無知のままだと知らないうちに誰かを傷つけたり差別につながったりすると分かった。自分から知ろうとする姿勢を大事にしたい。

「環境を整える」

感想 友達が勇気を出してカミングアウトしてくれたら「そうだったんだね」とそのまま仲良くし続けられるはず。相談できるような環境を作りたい。

※LGBTQ・・・Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Questioningの頭文字をとった、性的マイノリティ（性的少数者）の総称です。身体の性と心の性の不一致や、恋愛対象が同性・両性であるなど、多様な性のあり方を示す言葉として使われます。

自分たちで考えた交流を実施

南部小 松寿荘との交流

児童も利用者さんも みんな笑顔

松寿荘の方より

4年2組の皆さんが、今回は「運動会」と称してプログラムも作成してきました。赤白に分かれて結果はまさかの同点。笑顔で万歳！
また来てね♥

命の大切さを学んだ子ども達

南箕輪小 性教育講演会

新しい命の誕生に至るまでの過程

感想 自分やみんなはすごく貴重な存在なので、自分のことを嫌いにならないで、元気に楽しく過ごせるようにしたい。

感想 命にはたくさんの試練があって、それを乗り越えて新しい命が生まれるんだな。